



紫雲児の心

地域の思いを受けて

校長 五十嵐 めぐみ

1月28日(土)に「紫雲寺会」の総会が行われ、校長が参加してきました。この会は、「紫雲寺地域の歴史の伝承と会員相互の親睦を図ることをもって、新発田市の発展に寄与すること」を目的とし、「紫雲寺地域に居住または勤務した人及び出身者で本会の趣旨に賛同する者」で組織され、平成22年に発足しました。目的達成のために、「紫雲寺地域の歴史及び伝統文化の研修」、「紫雲寺中学校への支援」、「その他目的達成に必要な事業」を行うと会則に定められており、紫雲寺中学校へ物心両面からのご支援をいただいています。昨年度は感染症対策のために書面開催だったとのことですが、今年度は対面で開催され、紫雲寺を愛する多くの会員の皆様と直接お話することができました。

2月10日(金)の全校朝会では、紫雲寺を愛し、地域のために活動している人を代表して、当校の用務手であり、紫雲寺会の会員でもある“自称：ミュージシャン”の風間和好さんから、全校生徒に話していただきました。短い時間でしたが、ご自分が若い頃に夢に向かって頑張っていたことや、挫折の経験、紫雲寺に戻ってきた時に温かく迎えてもらって「自分はここにいていいんだ。」と思ったことなどを語り、お得意のギターと歌も披露してくださいました。

風間さんは、紫雲寺地区青少年健全育成協議会の「れんぎょうパトロール隊」の一員として、紫雲寺小学校の児童の登下校の見守り活動もされており、1月31日(火)には、BSNラジオの生放送にも出演されました。

紫雲寺地域には、地域を愛し、学校を見守り、応援してくださっているたくさんの方がおられます。先日も、「中学生の挨拶がいいですね！」と褒めていただきました。いつも見守ってくださっていると、嬉しくなって全校生徒に伝えました。ここ数年は、新型コロナウイルス感染症対策のために、外部の人との交流が制限されてきましたが、今後は様々な人とかかわりながら学ぶ学習活動を少しずつ再開し、地域の方の思いを受けて、地域に感謝し、地域に貢献しようとする気持ちを生徒に育てたいと、改めて感じました。

